

日本人版 Reading the Mind in the Eyes Test の作成

順天堂大学  
スポーツ健康科学研究科  
学籍番号：4118035  
氏名：牧 祐弥

【目的】

本研究は、マインドリーディングを客観的に測定できる尺度の作成を目的とした。具体的には、研究Ⅰで尺度を作成し、研究Ⅱでマインドリーディングと基本的属性との関連を検討した。

【方法】

研究Ⅰでは、感情の選定、写真撮影、写真のトリミング、写真に対する言葉の選定と修正、信頼性と妥当性の検討を経て日本人版 RME 原版作成を行なった。研究Ⅱでは、700名（男性 391名、女性 308名、不明 1名）を対象に本尺度を用い質問紙調査を行なった。その後、性別、年齢、スポーツ活動の有無等の基本的属性との関連を検討した。

【結果】

研究Ⅰの結果、30の写真画像から構成される日本人版 Reading the Mind in the Eyes Test が作成された。本尺度の妥当性と信頼性は概ね確保された。課題写真画像は、男性の写真画像 15項目、女性の写真画像 15項目であった。課題写真の感情価は、ポジティブ感情 15項目、ネガティブ感情 15項目であった。全 30項目の平均正答率は 71.15%であった。研究Ⅱの結果、本尺度の得点は、男性よりも女性の方が有意に高い値を示した。さらに、スポーツ活動をしていない者よりもスポーツ活動をしている者の方が有意に高い値を示した。

【結論】

日本人版 Reading the Mind in the Eyes Test の信頼性と妥当性が示された。また、男性よりも女性の方がマインドリーディングを高く有すること、スポーツ活動をしていない者よりもスポーツ活動をしている者の方がマインドリーディング高く有することが明らかとなった。